

# 建設技術審査証明事業 住宅等 関連技術

概要書

## バーヘッド鉄筋定着工法 (バーヘッド鉄筋を用いた杭頭定着筋)



2020年11月

建設技術審査証明協議会会員



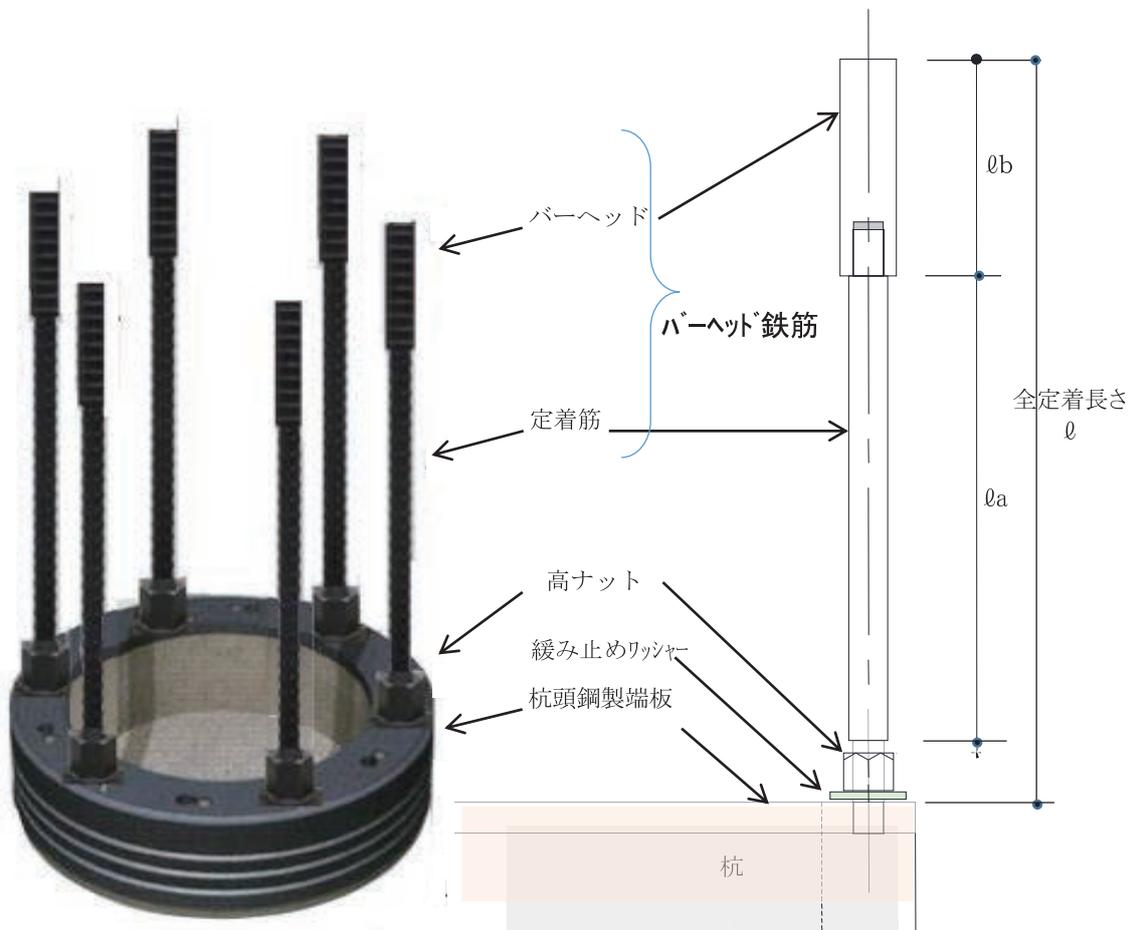
技術審査証明書（縮小版）

## バーヘッド鉄筋定着工法の特徴

- ・ 既製コンクリート杭と基礎フーチングを接合するために、既製杭頭鋼製端板のボルト孔を利用した杭頭筋の定着工法です。
- ・ バーヘッド鉄筋は、ねじ切りした定着筋と太径のバーヘッドから構成され、従来よりも定着強度が大きくなることにより、定着長さが短くなります。

## 定着方法の概要

- ・ バーヘッド鉄筋は、工場で管理製作して出荷します。
- ・ バーヘッド鉄筋は、高ナットと緩み止めワッシャーを用いて、杭頭鋼製端板に所定のトルク値で締め付けて固定します。

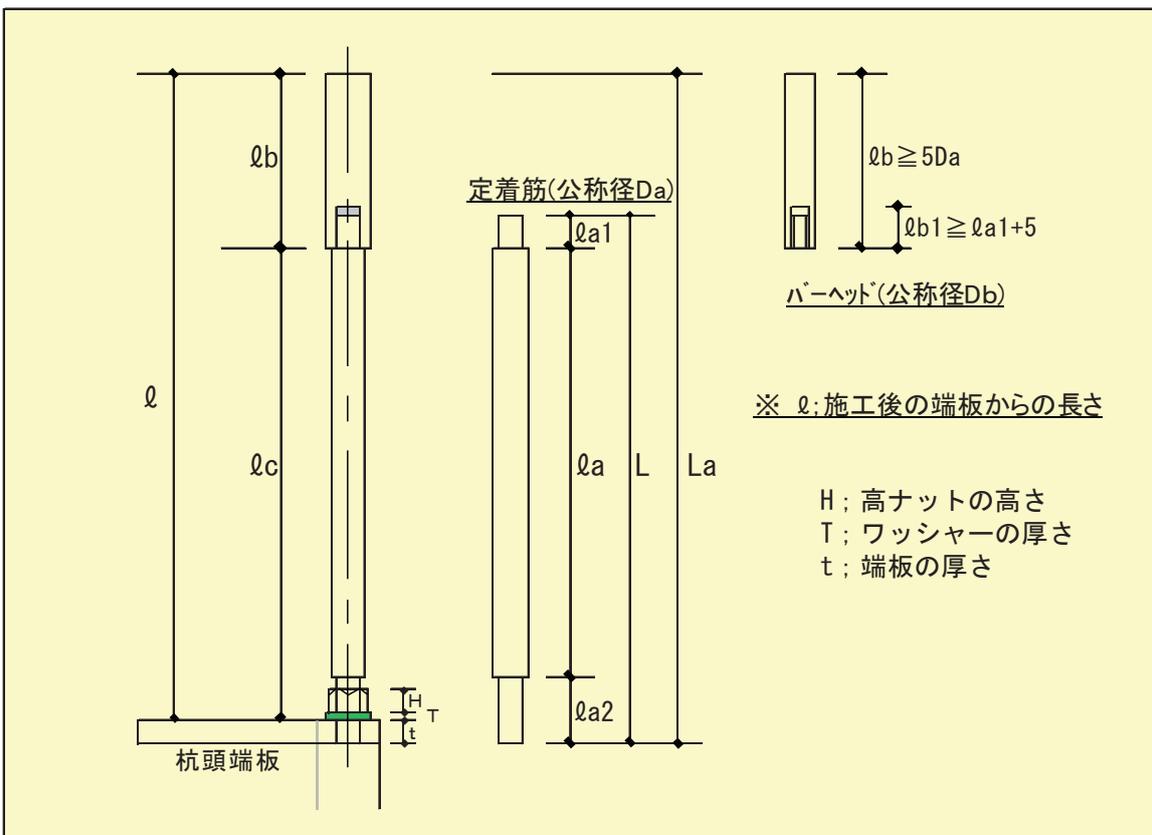


## 基本的な設計条件

- ・ 基礎フーチングのコンクリート設計基準強度は、 $18\text{N/mm}^2$  以上です。
- ・ バーヘッド鉄筋は SD345 (JIS G 3112) を使用します。
- ・ バーヘッド鉄筋の本数は 4 本以上とし、均等に配置する必要があります。
- ・ 基礎フーチングへの杭の埋込み深さは、100 mm 以上です。
- ・ 短期荷重時および大地震時の設計用曲げモーメント  $M$  が、基礎フーチング内の仮想円柱体において短期許容曲げモーメント  $M_a$  以下とする必要があります。
- ・ 鋼製端板厚さが端板のねじ径に比して薄い場合は、設計用曲げモーメント  $M$  を割り増して算定し、安全を確保する必要があります。

# バーヘッド鉄筋の標準寸法 (Fc ≧ 21)

ねじ	定着筋				バーヘッド			バーヘッド鉄筋
	公称径 Da mm	ねじ長さ		軸長さ la mm	公称径 Db mm	長さ lb mm	ねじ深さ lb1 mm	全長 La mm
M18	D22	35	60	315	D29	110	40	485
W3/4								
M20								
M22	D25	40	60	360	D32	130	45	550
W7/8								
M24	D29	45	75	410	D38	150	50	635
W1/1								



## 依頼者

サンロード・スチール株式会社 北九州市小倉南区大字石原町 205-12

## 技術内容及び報告書の入手に関するお問合せ先

サンロード・スチール株式会社  
〒803-0185

北九州市小倉南区大字石原町 205-12

TEL 093-451-4609 FAX 093-451-0598